

予算特別委員会

3月3日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。平成26年度一般会計予算をはじめ、5つの特別会計予算、水道事業会計予算が付託され、10日から12日までの3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、全ての予算において賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

一般会計予算は

総額268億4000万円

市長の提案説明による主要な施策

より良好な環境の形成・ 保全と安全安心なまち

水質浄化対策においては、イケチヨウガイを活用した水質浄化実験のほか、多々良沼からの導水事業や、河川の浮遊物処分などに引き続き取り組みます。

また、地球温暖化対策では、太陽光発電施設設置補助、緑のカーテン事業、廃食用油回収事業などを引き続き実施するほか、総合福祉センターなど市内3か所の防災拠点等（公共施設）へ太陽光発電設備を新たに整備します。

さらに、一般廃棄物広域共同

処理事業では、次期ごみ焼却施設の建設に伴い、建設予定地にある既存施設の解体等に取り組みます。

雨水排水対策では、準用河川宮田川や岡野幹線排水路の改修のほか、宮田2号幹線排水路などの計画的な整備を推進します。

防災関係では、地域防災力の向上を図るため、地域防災の担い手となる防災士の育成に努めるほか、有事に備えて非常用飲料水等の確保や防災倉庫を増設します。また、防災訓練を実施して、市民参加による防災意識の高揚を図るとともに、防災体

制の強化を図ります。

思いやりと助けあいの ある暮らしやすいまち

在宅重度心身障がい者等デイサービス事業に引き続き取り組みとともに、在宅での血液透析を行ううえで必要となる自宅の改修費用及び電気・水道料を補助して、じん臓機能障がい者の身体的負担等の軽減に新たに取り組みむなど、障がい者への在宅福祉サービスや地域生活支援を引き続き実施します。

また、発達障がい者を社会全体で支える仕組みを整えるための体制づくりに向けて、発達障がい者支援事業に取り組みとともに、新たに整備された障がい者総合支援センターを運営し、障がい者への生活支援や社会参加事業などの総合的な支援を行います。

福祉医療費では、通院・入院とともに中学3年生まで引き続き助成し、保護者の医療費負担を軽減します。

緊急通報装置の設置や介護慰労金の支給などを引き続き実施して、高齢者への在宅サービスに取り組みます。

さらに、生活困窮者に対する

扶助を行うとともに、就労支援員による自立のための指導をはじめ、きめ細かな相談を通し、適切な支援を引き続き行います。

心身ともに健康で いきいきと暮らせるまち

館林厚生病院の耐震化工事を推進するとともに、地域医療の充実に努め、市民の健康を守り、安心して生活できる環境を整えます。

また、各種健康診査やがん検診等を実施して、早期発見・早期治療を推進します。

子どもたちが 健やかに成長できるまち

児童手当の支給や、保育園及び公立幼稚園に通う第三子以降の児童に対する保育料の無料化のほか、児童育成クラブを利用する低所得者等に対する負担軽減を引き続き実施するとともに、第九小学校区の児童育成クラブ施設を整備します。

また、地域の中で子育てを支え合うためのファミリー・サポート・センター事業に引き続き取り組みむほか、病気で集団保育が困難な時期にある幼児等を対象に、病児・病後児保育を引き続き委託実施するなど、仕事と

家庭の両立や安心して子育てができる環境づくりを推進するとともに、緊急少子化対策事業を実施して、安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。

さらに、乳幼児健診や新生児訪問指導などを引き続き実施し、母子の健康の保持、増進を図るとともに、小児用肺炎球菌ワクチンなどの各種予防接種を引き続き実施し、乳幼児の病氣予防に努めます。

学校教育においては、小中学校での学習活動や生活指導の充実を図るため、特別支援教育介助員を増員するとともに、教諭補助員及び心の教室相談員について、引き続き適切な配置に努めます。また、東日本大震災により本市に避難されている児童生徒を支援するためのカウンセリングにも配慮します。

学ぶよろこびや 豊かな心を育むまち

通学合宿などの各種体験学習活動を推進して、地域社会と連携した青少年の健全育成に努めるとともに、地域活動や生涯学習活動の拠点となる渡瀬公民館を増築し、施設の充実を図ります。